

問1 表1は「令和6年末の一般原付以上運転者の年齢層別・法令違反別死亡事故件数」である。

- 1) 表1のA、Bにあてはまる数値を答えなさい。なお、Aは免許保有者数を10万人の単位で表した値である。また、Bは小数第2位を四捨五入した値とする。

A (817)

B (5.2)

- 2) 次の文章について正しい時には「○」、誤っている時には「×」を()に記入しなさい。

(○) 75歳以上の免許保有者による死亡事故件数の割合は、75歳未満の約2倍である。

(×) 75歳以上の運転者が起こした死亡事故のうち、漫然運転が原因となった割合は約25%である。

(○) 運転操作不適が原因となった死亡事故の割合は、75歳未満の運転者に比べて75歳以上の方が多い。

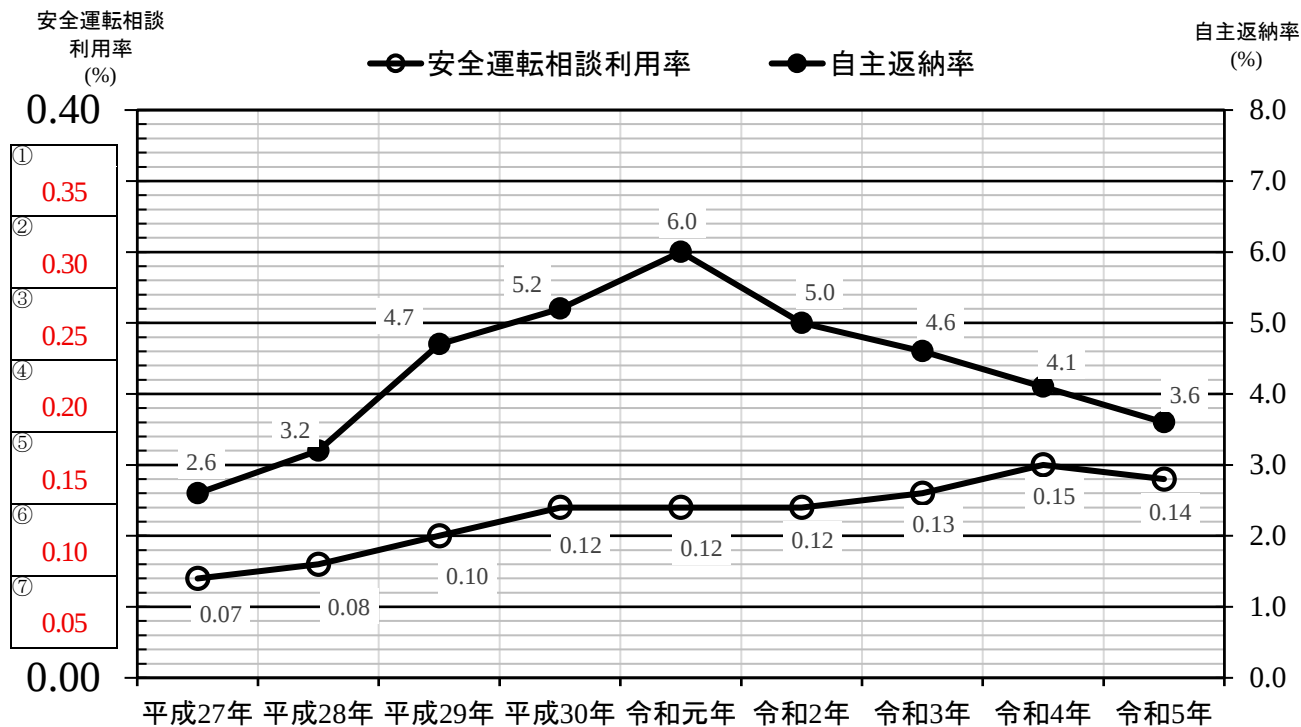
問2 令和5年に実施された運転免許証更新時の認知機能検査では、総受検者数2,563,710名のうち55,634名が「認知症のおそれあり」と判定されている。その判定には下記の計算式が用いられ、手がかり再生課題と時間の見当識の各点数を式に代入した総合点が「36点未満」になると認知症のおそれありと評定される。

1) 受検者 **あ** ～ **お** のうち「認知症のおそれあり」と判定されるのはだれか答えなさい。2人選べ。

受検者	a (点)	b (点)
あ	15	10
い	10	15
う	10	5
え	10	10
お	5	10

受検者 (う) と (お)

問3 表2と図1は「安全運転相談の利用率および運転免許自主返納率の年次推移」である。表2をもとにして、図1の平成30年までの自主返納率の折れ線グラフに繋がる形で、それ以降のグラフを完成させなさい。また、安全運転相談利用率の軸目盛について、図1の①～⑦の空欄に適した数値（小数第2位まで）を記入しなさい。



問4 冒頭文やこれまでの設問から、高齢運転者による交通事故を低減させるためには、具体的にどのような取り組みが必要であるか。理由とともにあなたの考えを述べなさい。なお、解答は400字以内にまとめなさい。